

ダイヤモンド就活ナビ2019 就職モニターレポート4月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2019年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 395名
- ◆調査期間 2017年4月11日（水）～2018年4月18日（水）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	298名 (75.4%)	理系	97名 (24.6%)
----	-----------------	----	----------------

【大学エリア別回答学生数】

北海道	25名	6.3%
東北エリア	12名	3.0%
関東エリア	176名	44.6%
甲信越エリア	5名	1.3%
東海・北陸エリア	39名	9.9%
関西エリア	70名	17.7%
中国・四国エリア	57名	14.4%
九州・沖縄エリア	11名	2.8%

◆TOPICS◆

<就職活動の進行状況>

「一次面接」が61.7%と前月比37.1ポイント増。
選考関連のポイントが大幅に伸び、4月に入り一気に進展した様子が見える。

<エントリー/説明会・セミナー/選考（エントリーシート、筆記・適性試験）>

- 【プレエントリー】 平均社数は30.1社と前年比▲5.1社
- 【個別企業セミナー】 平均参加社数は11.8社
- 【合同企業セミナー】 学内セミナー：平均4.0回 学外セミナー：平均4.6回
- 【エントリーシート】 平均提出社数は8.9社
- 【筆記・適性テスト】 平均受験社数は5.7社

<就職活動観>

「就職できるかどうか非常に不安」が過半数を超える。
筆記試験・ES・面接といった具体的な選考フェーズの悩みが続く。
就職活動について「苦戦する」「展望が見えず悲観的」が7割以上を占める。

【本調査に関するお問い合わせ】

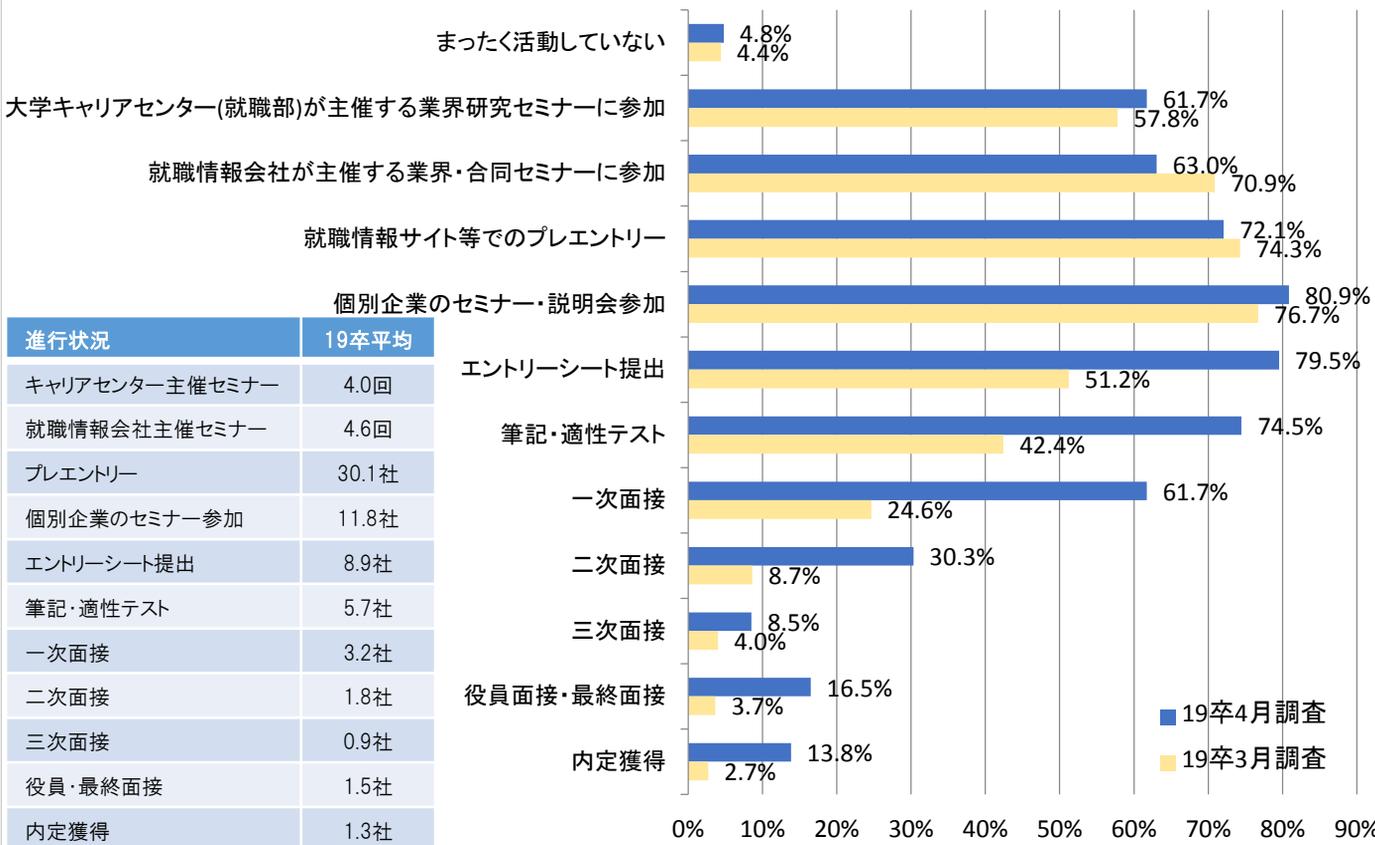


株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

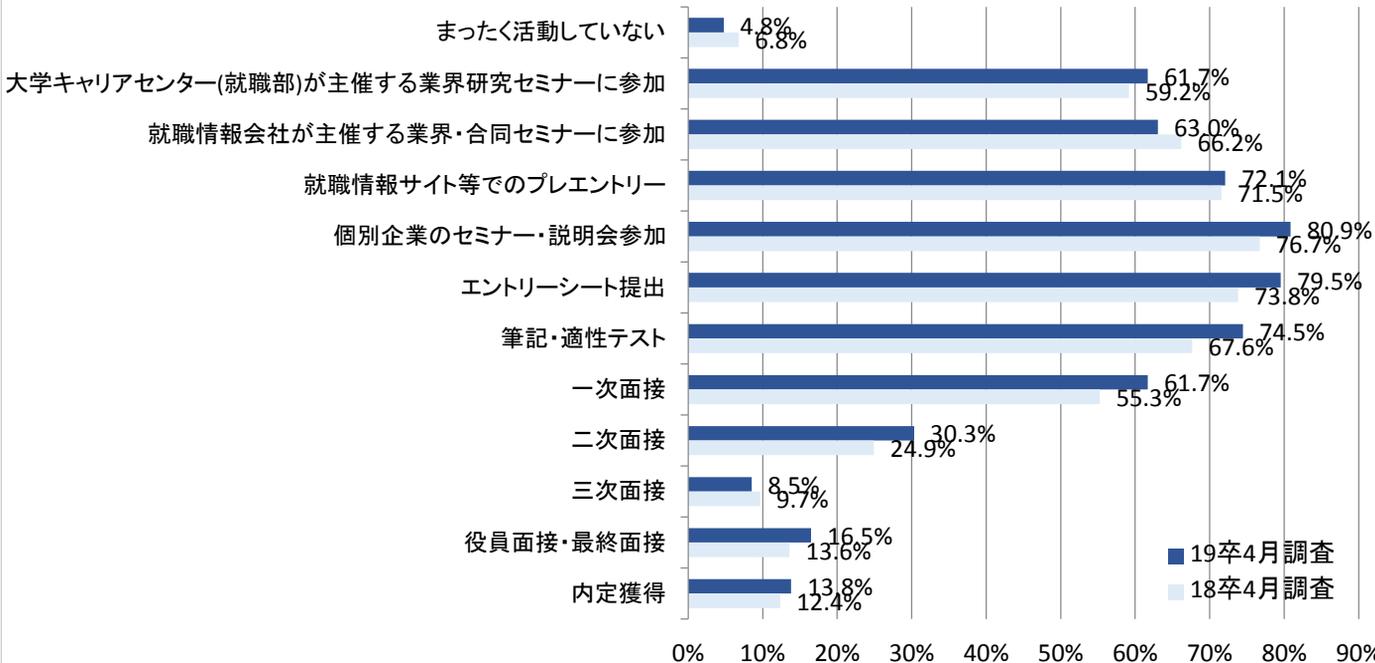
営業局 首都圏営業部
TEL : 03-5319-2452
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の進行状況

◆【前月比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください



◆【前年比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください

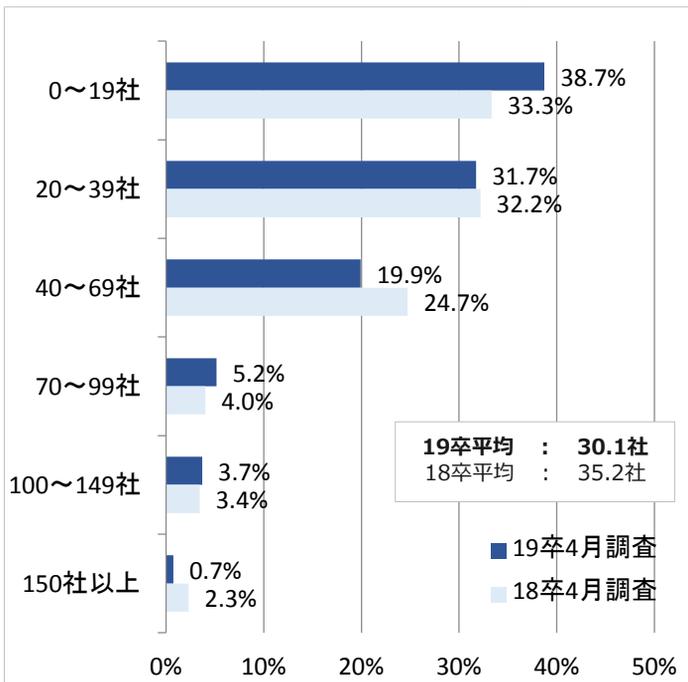


「一次面接」が61.7%と前月比37.1ポイントアップ。
選考関連のポイントが大幅に伸び、4月に入り一気に進展した様子が見える。

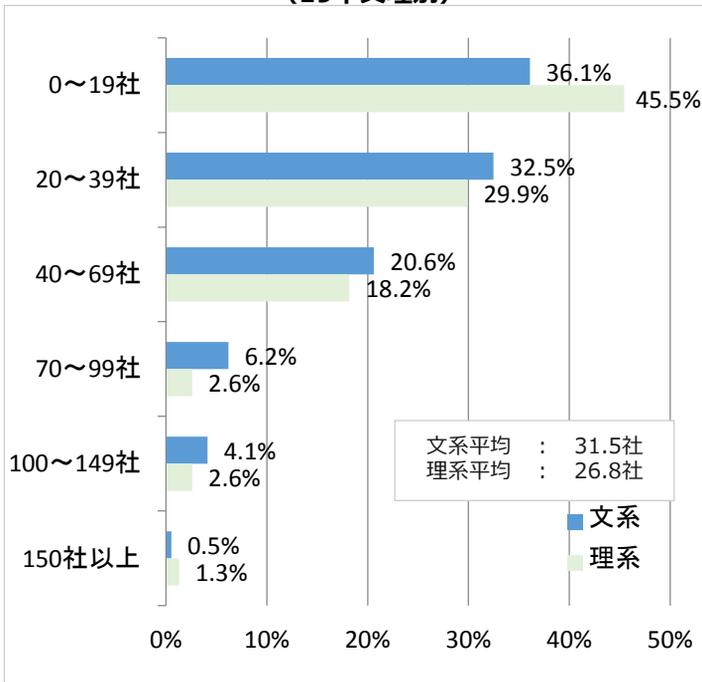
就職活動の進行状況は、「個別企業のセミナー・説明会参加」（3月調査：76.7.0%→4月調査：80.9%）がトップとなった。「エントリーシート提出」（3月調査：51.2%→4月調査：79.5%）が僅差で次点につけている。「筆記・適性テスト」（3月：42.4%→4月：74.5%）、「一次面接」（3月：24.6%→4月：61.7%）が過半数を超え、半数以上が選考初期段階に進んでいる様子だ。前年と比較しても、積極的な活動が見える。

エントリー状況

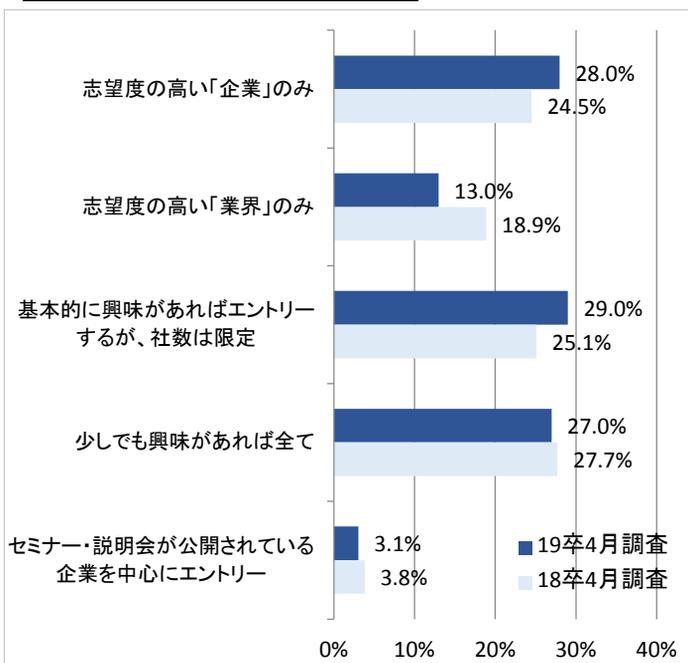
◆就職情報サイト等でのプレエントリー数



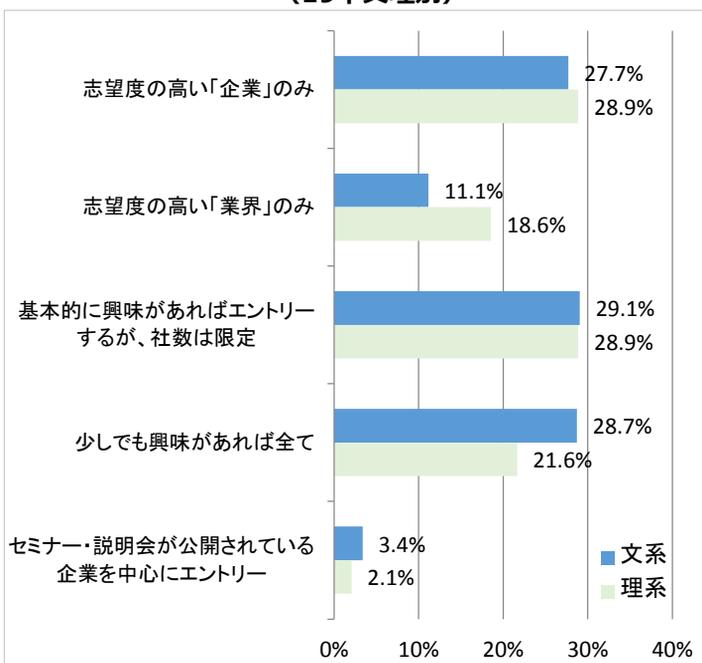
(19卒文理別)



◆企業にエントリーする際の基準



(19卒文理別)



**平均エントリー数は30.1社と前年比▲5.1社。
エントリーについて「社数は限定」「志望度の高い『企業』のみ」が半数以上を占める。**

学生一人当たりのエントリー社数は30.1社と、18卒4月調査の35.2社から5.1社減の結果となった。17卒4月調査平均の38.1社からは8.0社と、絞り込んでエントリーする傾向に拍車がかかっている。

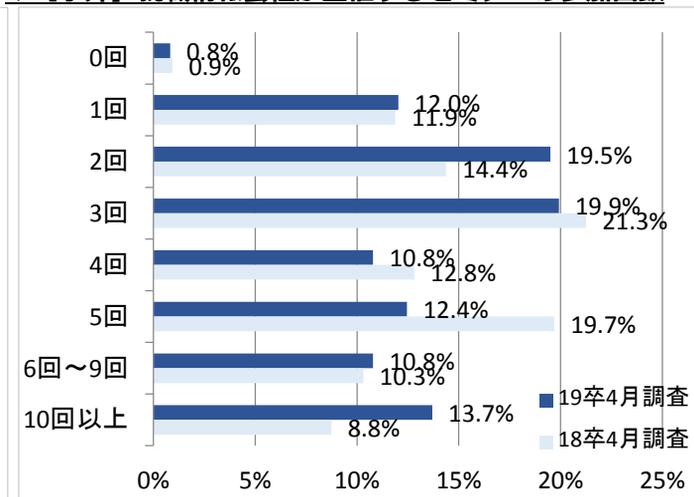
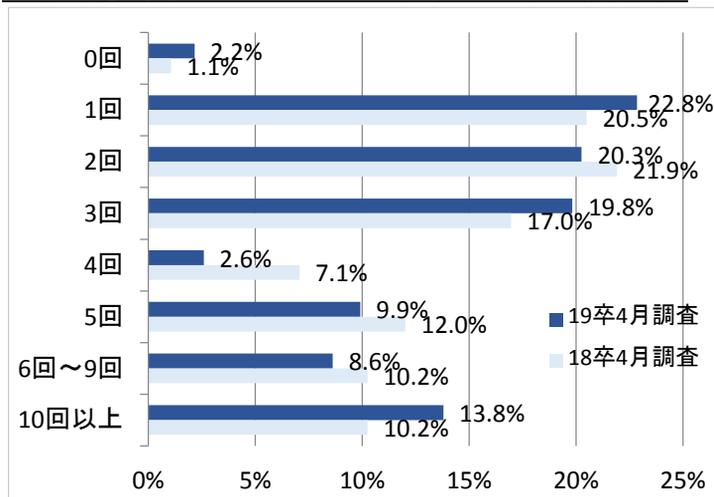
文理別にみると理系の「0～19社」が45.5%と半数近くにのぼり、文系の36.1%に9.4ポイントの差をつけているのが目立つ。

企業にエントリーする際の基準は、これまで「少しでも興味があれば全てエントリー」がトップだったが、19卒4月調査で初めて「興味があればエントリーするが社数は限定」(29.0%)がトップとなり、次点に「志望度の高い「企業」のみ」(28.0%)がつけた。文理別で見ると、理系では「志望度の高い「企業」のみ」(28.9%)「志望度の高い「業界」のみ」(18.6%)と半数に迫る勢いで、よりエントリーを絞り込む姿勢が見られた。

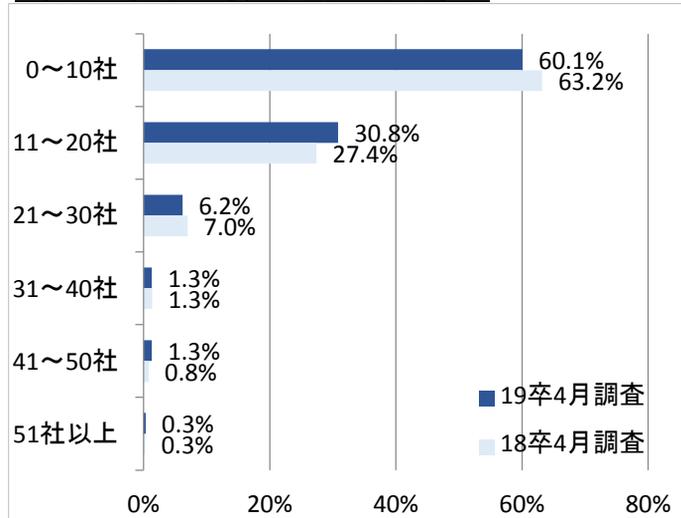
説明会・セミナーの参加状況

◆【学内】キャリアセンターが主催するセミナー参加回数

◆【学外】就職情報会社が主催するセミナーの参加回数



◆個別企業の説明会・セミナー参加社数



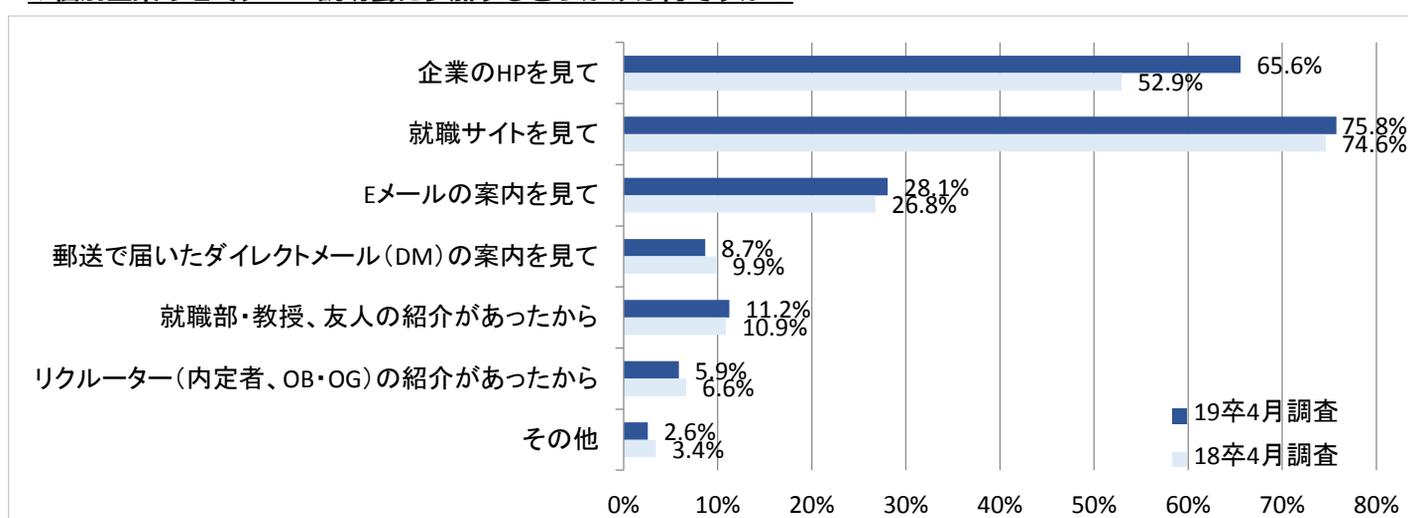
◆学内合同セミナー 19卒4月調査 18卒4月調査	◆学外合同セミナー 19卒4月調査 18卒4月調査	◆個別企業セミナー 19卒4月調査 18卒4月調査
・・・平均4.0回	・・・平均4.6回	・・・平均11.8社
・・・平均4.0回	・・・平均4.4回	・・・平均11.5社

**個別企業セミナーの平均参加数は11.8社。
合同セミナー参加平均は学内：4.0回、学外：4.6回。**

学内セミナーの参加回数は平均4.0回で前年と変わらない結果となった。学外セミナーの参加回数は平均4.6回と、こちらは0.2伸ばした。

個別企業のセミナー参加回数は11.8社と前年より0.3社増の結果となった。「0～10社」が60.1%と大半を占めているが、「11～20社」が30.8%と前年同時期調査より3.4ポイントのばしている。

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



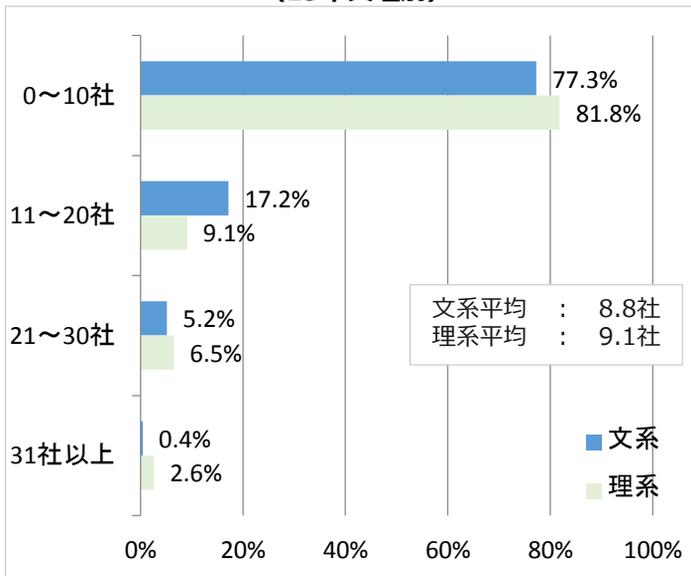
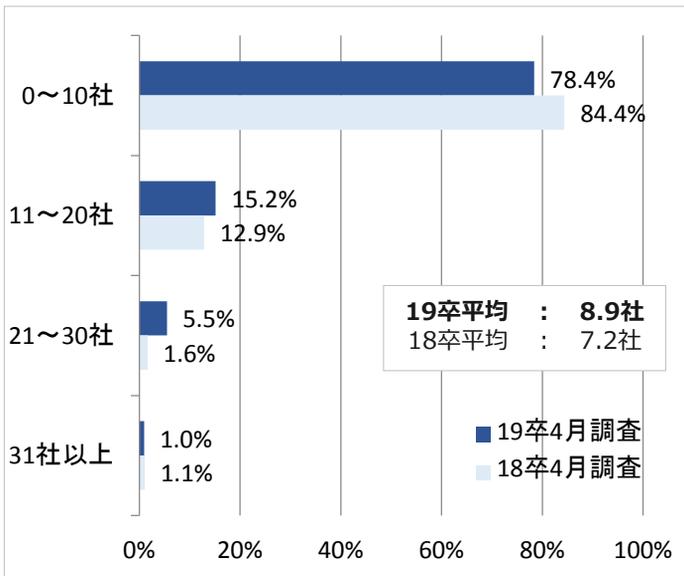
参加のきっかけは「就職サイトを見て」75.8%がトップ。「企業のHP」が65.6%で続く。

説明会・セミナーに参加するきっかけは、「就職サイトを見て」が75.8%でトップとなり、「企業のHPを見て」が65.6%で次点につけた。傾向は昨年同様ではあるものの「企業のHPを見て」が前年同時期調査より12.7ポイントのばしているのが特徴だ。

選考状況（エントリーシート、筆記・適性テスト）

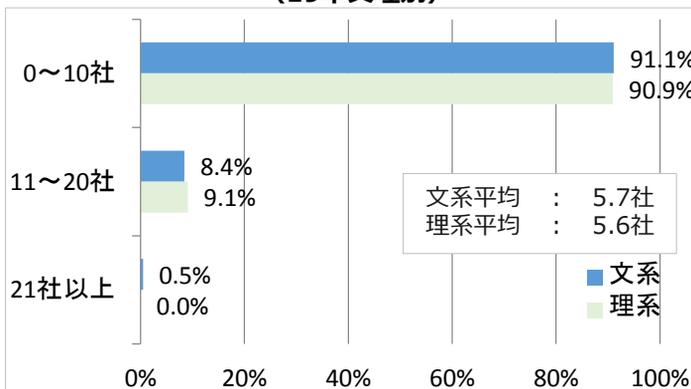
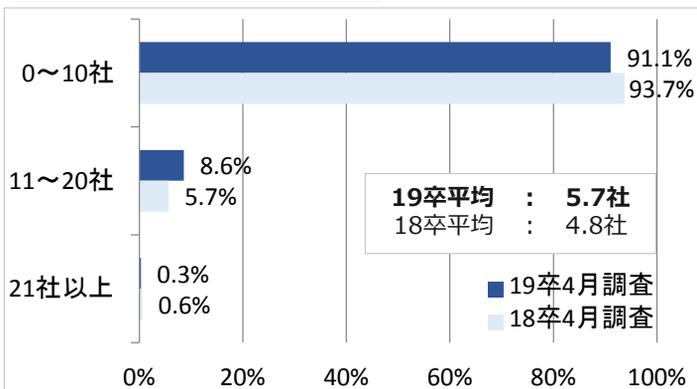
◆エントリーシートの提出社数

（19卒文理別）

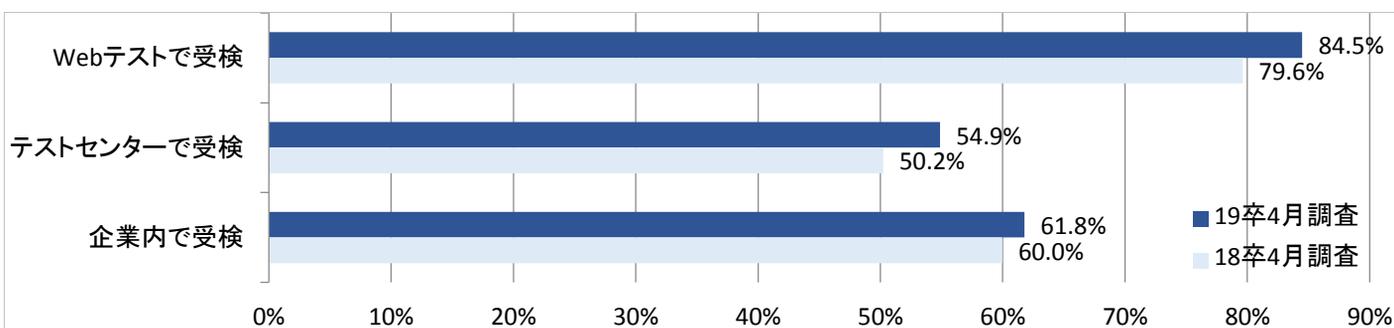


◆筆記・適性テストの受験社数

（19卒文理別）



◆筆記・適性テストの受験方法（複数回答）



【エントリーシート】平均提出社数は8.9社。前年同時期調査から1.7社増。
【筆記・適性テスト】平均受験社数は5.7社。文理共に「0～10社」が90%を超える。

【エントリーシート】

平均提出社数は8.9社と、18卒4月調査平均からは1.7社増の結果となった。文理比較では、文系の「0～10社」が77.3%、理系は81.8%と大多数を占める結果となった。

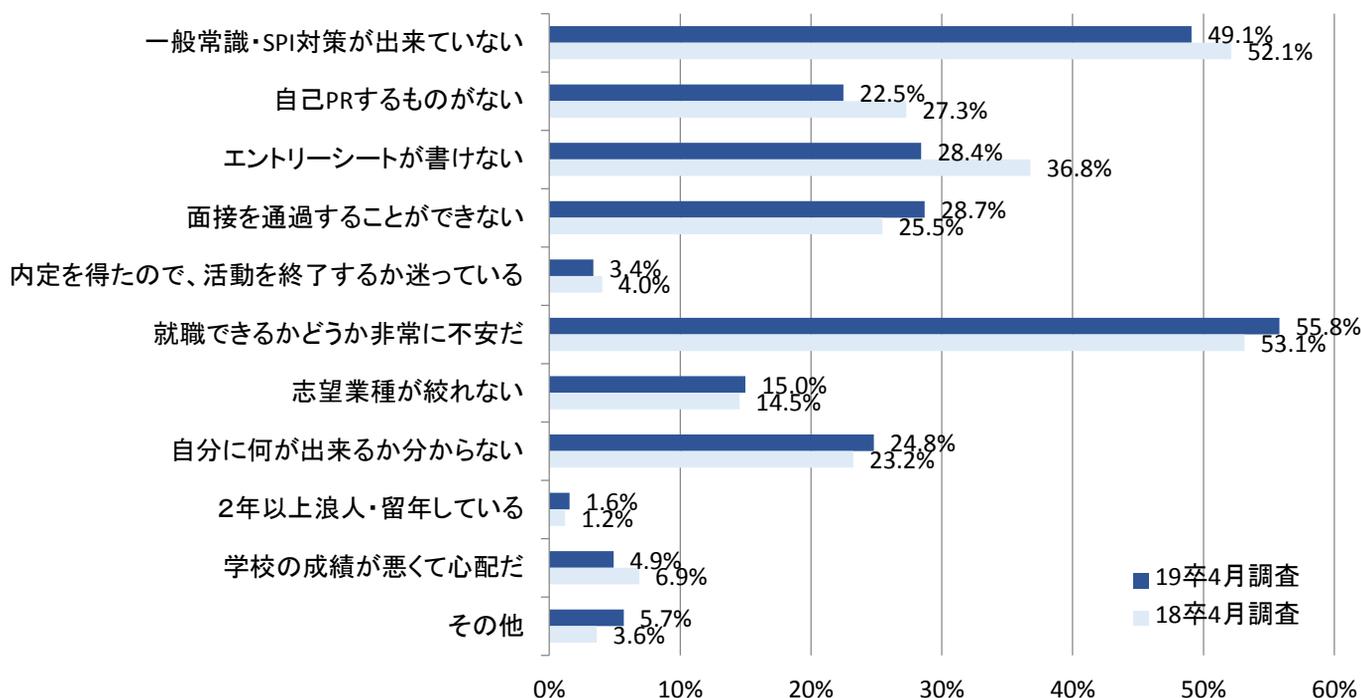
【筆記・適性テスト】

平均受験社数は5.7社と、18卒4月調査平均からは0.9社増の結果となった。エントリーシート同様、こちらも増加傾向が見られた。文理別に見ても、「0～10社」が文理ともに9割を占め、傾向に差は見られない。

受験方法は「Webテストで受験」が84.5%でトップ。次に「企業内で受験」が61.8%の結果となった。

就職活動観

◆今、抱えている悩み（不安）は何ですか？（複数回答）

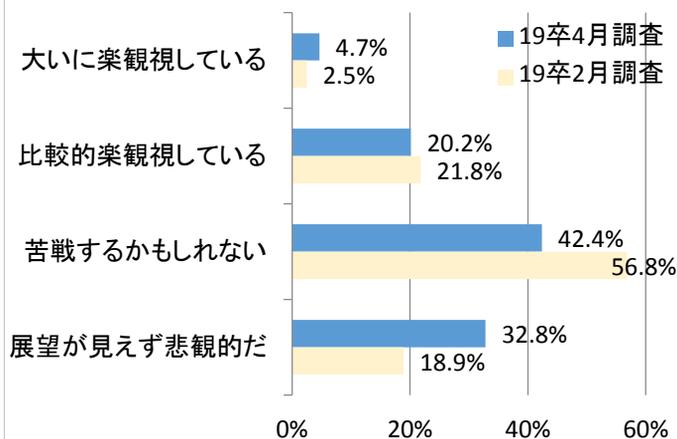
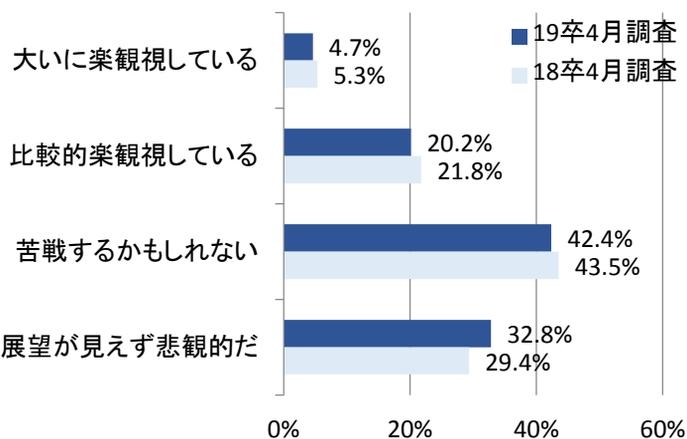


「就職できるかどうか」が55.8%でトップ。「一般常識・SPI対策が出来ていない」が49.1%で次点。「面接を通過することができない」「エントリーシートが書けない」選考の悩み（不安）が続く。

今抱えている悩み（不安）は「就職できるかどうか非常に不安だ」が55.8%で半数以上を占め、トップとなった。「一般常識・SPI対策が出来ていない」（49.1%）「面接を通過することができない」（28.7%）「エントリーシートが書けない」（28.4%）といった、具体的な選考フェーズの悩み（不安）が続いている。

◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。

（19卒2月・4月比較）



就職活動観は「苦戦するかもしれない」が42.4%でトップ。19卒2月調査から「展望が見えず悲観的」が13.9ポイント増。

就職活動が「苦戦するかもしれない」と考える学生が42.4%でトップ。次いで「展望が見えず悲観的だ」が32.8%となった。グラフにはないが、「展望が見えず悲観的」と答えたのは17卒4月調査では23.2%だったことから年々増加傾向にある。採用広報開始前の19卒2月調査では「苦戦するかもしれない」が56.8%だったが、4月調査では42.4%へ減少。反対に「展望が見えず悲観的」が2月調査：18.9%→4月調査：32.8%と、13.9ポイント増加した。